



市町村合併功労者総務大臣表彰及び 長崎県市町村合併功労者知事表彰 受賞者 (敬称略) 川 田 隈 部 林 田 典政 (旧深江町長) 秀 (旧深江町議会議長) 邦米 弘 幸 博 (旧布津町議会議長) (旧布津町長) 原 康 德 (旧有家町長) (旧有家町議会議長) 寿義 信博 佐 本 多 大 助 (旧西有家町議会議長) (旧西有家町長) 柴宮寺 田嵜田 恭和 尾 成孝 (旧北有馬町議会議長) (旧南有馬町長) 松 朗(旧口之津町長) 芳 晴(旧加津佐町長) 幸 信(元深江町長) 原 (旧南有馬町議会議長) 山 喜 三 (旧口之津町議会議長) 山嶋 巖明 横田 穐 (旧加津佐町議会議長) 光 (元布津町議会議長) 小 一ノ瀬 武 亮 (元西有家町議会議長) 松 凌 (元南有馬町議会議長) 長崎県市町村合併功労者知事表彰 受賞者 (敬称略) 瀨浦川 (旧深江町議会副議長) 本 房文武陽東次壽 也 (旧深江町助役) 秀良 博 臣 隈伊 部藤村谷中 (旧布津町助役) (旧布津町議会副議長) 夫二洋 郎 (旧有家町議会副議長) (旧有家町助役) 近城平 藤谷 (旧西有家町議会副議長) 本 (旧西有家町助役) 義 文春 (旧北有馬町議会副議長) · 城 田 (旧北有馬町助役) 廣 石 孝 (旧南有馬町議会副議長) (旧南有馬町助役) (旧口之津町議会副議長) 松 尾 春 (旧口之津町助役) 夫 (旧加津佐町助役) 仁 (元深 江 町 助 役) 向田 義北寛 忠 上 杉 和 (旧加津佐町議会副議長) 衛 (元深江町議会副議長) 小 島 (元深江町助役) 草 栁 衛 (元布津町議会副議長) 安 藤 一功 樹 (元南有馬町議会副議長) (元南有馬町議会副議長) 市長感謝状 受賞者 (敬称略) (旧合併協議会委員) 良 久修 小江 松 紘敏繁剛! Ш 田 稔 永 隈 部 和 記 哲 中 島 倉 原 吾 石 橋 豊 村 昌 彦 寄田 酒宮永 井﨑田 末勝倫 光泰康 横中 春伸 做宮 良 輔 園 田 清八郎 田 勝純 野 川原田 義子 多美子 石 保 森 田 林 田 福 男 久 田 中 子 田 重 林 田 千 春 金 子 初 小 正 松林 恭 酒 酒 井 井 智代子 (元合併協議会委員) 岡田 北 静 壽 増 泰 行 吉 畄 木 浩 徳 増 篤 原 昌 井 上 輝 彦 島 喜 髙 橋 英 (旧合併協議会監査委員) 吉 岡 菅 藤 共 榮 宏道

南島原市誕生記念式典

来賓として、総務大臣代理の吉田哲自治大学校長は『将来の発展田哲自治大学校長は『将来の発展を実現された、八団体の長や議会を実現された、八団体の長や議会でまり、住職の皆様の御理解と御協力に対して、深く敬意を表する次第であり 松島市長は式辞の中で『八町のこれまでの歴史と実績の上に、南島原市の基本理念として掲げております「南向きに生きよう 緑とぬくもりのある感動創造産地 太陽と自然の恵みでひときわ輝く南島原市」を実現するため、市民一人一人が未来への責任者としての自覚を持ち、八つの心を一つにして新しいふるさとづくりに取り組むことといたしております』とあらためて決意を述べました。 をはじめ、市議会、市当局が一切基盤を強化され、市民の皆にます』『この合併を契機として

奥村雲仙市長などを迎え開催され 大に開催され、町内外の関係者約ルで、南島原市誕生記念式典が盛り月21日出ありえコレジヨホー 式典には、主催者の松島市長を 県議会議長、吉岡島原市長、大学校長、金子長崎県知事、、本市西有家町出身の吉田哲 本市西有家町出身の吉田哲して、菅総務大臣の代理として、菅総務大臣の代理と 新市誕生を祝 願する次第であり ひときわ輝く南島 となって、「太陽 でありま した。 まちづくりに取り組んでい地域経営の視点をもって、 たしましても、「南島原市」 あります』と祝辞を述べられまっかり応援させていただく所存よう、元気な地方を作るために、 くりに取り組んでいただけ宮の視点をもって、新しいましても、「南島原市」が 次第であります。総務省とて邁進されることを切に含むなく、「太陽と自然の恵みでて、「太陽と自然の恵みでて、「太陽と自然の恵みでて、「太陽と自然の恵みで 総務省と

郷土の発展を誓いました。

人が出席

末永県議会議長、金目治大学校長、金

はじめ、日向 来賓として、 本市西

自然を活かした農業、水産業が盛んであり、全国有数の手延べ素麺んであり、全国有数の手延べ素麺店る地域資源を有しています。また、歴史や文化などの観光資源も豊富であり、新しいまちづくりの可能性は大きく拡がっていくものと考えています。県といたしましても、南島原市の住民の皆様が「合併してよかった」と実感していただけるよう、全力を挙げて支援した。また、、全力を挙げて支援した。 南島原市の対する表彰 が津シが行知が行れていた。 ました。 力を約束しながら祝辞を述べられていきます』と、長崎県の全面協 われました U, われ、式典に花を添えました。双太鼓継承会による太鼓共演双太鼓継承会による太鼓共演し、その命名者に記念品贈呈し、その命名者に記念品贈呈 の彰 の「市の花・市の木」を彰や市長の感謝状贈呈、はほかに、合併功労者に

また金子知事は、 『南島原市は、

難しい市政運営も想定されまちづくりのスタートであり、これからが真の意味でのま

振り返りますと平成15年9月5日の合併協議会発足から約2年半の歳月を経て、今年3月1日の合併協議会発足から約2年半の歳月を経て、今年4年ロメートル、人口5万4千年ロメートル、人口5万4千年ロメートル、人口5万4千年の大だきました。ここにおかれましては、独自の財政的、人的支援をいただきました。ここにあらためて感謝申し上げます。一大が未来への責任者として別ときわ輝く 南島原市の基本理念として掲げております「南向きに生きよう 緑とぬくもりのある感が未来への責任者としての自覚を持ち、八つの心を一つにして新しいふるさとづくりに取り組むことといたしております。 次第であります

終わりに、美しい私たちの 郷土の更なる発展と、ご臨席 の皆様方のご健勝、ご多幸を の皆様方のご健勝、ご多幸を で指導、ご鞭撻を賜りますよ ご指導、ご鞭撻を賜りますと である発展と、ご臨席 平成十

とを席の

南島原市長 八年十月二十一日 松島 世佳 まよの



長 式 辞

主 盛

であり、厚くお礼申し上げるところ、皆様にはご多忙の中ところ、皆様にはご多忙の中ところ、皆様にはご多忙の中ところ、皆様にはご多にの中に念式典を開催いたしました。 るところ

にはご多忙の中催いたしました南島原市誕生 る

本日は、後ほどそれぞれの本日は、後ほどそれぞれので支援、ご指導を賜りました皆様方に感謝状を贈呈させていただき、今日までのごを力ご苦労に対し、心から深尽力ご苦労に対し、心から深尽力ご苦労に対し、心から深また5万4千の南島原市民の皆様お一人お一人にもこの場皆様お一人お一人にもこの場皆様お一人お一人にもこの場をお借りしまして合併にあたり賜りましたご尽力に御礼を申し上げます。 集し、限りない郷土愛と自ら を市政の連帯、協働により、 と市政の連帯、協働により、 と市政の連帯、協働により、 関かれた明るい笑顔あふれる 南島原市を目指して努力を重 南島原市を目指して努力を重 で以上のお力添えご支援をお で以上のお力添えご支援をお すので、こうれて 多力を重 重